



OPTICS & PHOTONICS International Congress 2013

Plenary Special Sessions

光・レーザー技術は 21 世紀において科学・技術・産業のあらゆる分野でその基盤となりつつある。OPIC2013 のプレナリーセッションでは、イントロダクトリートークとして「レーザーの過去・現在・未来」が、キーノートレクチャーではレーザー光源の最新技術や医学への応用などが発表される。これらの発表では、各分野の権威がその中心課題について言及することにより、異なる分野の共通課題が俯瞰でき、かつ連携・協力のきっかけとなる構成が企画されている。是非プレナリーセッションに参加し、新しい科学技術文明のソリューションを見つけていただきたい。

2013 年 4 月 23 日（火）パシフィコ横浜・会議センター 3 階 301-302 室

Opening Opening Remarks

9:30~10:00

主催者挨拶 OPIC2013 組織委員長 **中井貞雄**（レーザー学会会長、大阪大学名誉教授）

来賓挨拶

イントロダクトリートーク

「レーザーの過去、現在、未来（仮）」 Congress Chairs **霜田光一**（東京大学名誉教授）

レーザー創生期からレーザーの研究開発に携わってきた Authority が将来のレーザー社会への提言を行います。

基調講演 Keynote Lectures

10:00~11:55

I 「Optics & Photonics（仮）」 Congress Chairs **Robert L. Byer**（スタンフォード大学教授）

可変可視パラメトリック発振器や Q スイッチ不安定共振器の開発者であり、米国光学会の要職を多数経験している Byer 教授が米国のレーザー開発状況を紹介し日本への期待を語ります。

II 「先進レーザー光源と医学・生物学応用」

フェムト秒レーザーやアト秒パルス発生など常に新しいレーザーの研究開発を牽引している緑川氏がレーザー開発の最前線を報告し、加えてレーザーの医療への応用、生物・バイオへの応用など人に役立つレーザー応用の最先端を研究している菊地氏がコラボレーションして、医療イノベーションに求められる新しい社会に向けたレーザー応用分野とその実用化への道筋を紹介します。

講演者 I **緑川克美**（理化学研究所）

講演者 II **菊地真**（医療機器センター）

< 休憩 >

11:55~13:20

専門会議合同プレナリー

13:20~15:20

「光・レーザー技術」について各専門会議の代表が研究開発動向、今後の展望、トピックス等をプレゼンテーションします。（各 30 分）

セッション A

- ・バイオマテリアル、食品、農業のためのセンシング技術
SeTBio'13 Chair 近藤 直（京都大学）
- ・レーザーディスプレイ
LDC'13 Chair 黒田和男（宇都宮大学）
- ・LED とその産業応用
LEDIA'13 Chair 天野 浩（名古屋大学）
- ・レーザー点火
LIC'13 Chair 平等拓範（分子科学研究所）

セッション B

- ・レーザーならびに加速器中性子源と応用
LANSA'13 Chair 疇地 宏（大阪大学）
- ・レーザーの原子力応用
LANE'13 Advisor 野村 茂雄
（日本原子力研究開発機構）
- ・高エネルギー密度科学の応用
HEDS2013 Chair 児玉了祐（大阪大学）
- ・CFRP 等複合材料のレーザー加工
LPCC2013 Advisor 沓名宗春
（光産業創成大学院大学）

備考：15:45 から各専門会議がそれぞれの会場に分かれてスタートします。